
「入院期間が長期化している患者の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、看護研究委員会、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年4月1日～2025年3月31日期间に埼玉医科大学総合医療センター6階西病棟に、整形外科疾患で入院した患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

急性期病院では在院日数の短縮化が求められています。当院は急性期病院であり、急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度（以下DPC）を導入しており、医療の質の向上と効率化を目指す上で重要な指標となっています。

本研究では6階西病棟で入院期間が長期化している患者さんを対象に実態調査を行い共通する特性を明らかにすることで早期からの退院支援介入やサービス調整に繋げ、地域で安心して患者さんやご家族が過ごせることを目的とします。

3. 研究期間

研究期間：自機関の長の実施許可日 ～ 2026年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 情報の内容

患者さんの電子カルテから、収集する情報は次の通りとします。

研究対象者の基本属性	年齢、性別、緊急入院の有無、クリニカルパス適用の有無、疾患・治療内容（手術・点滴加療・その他）、在院日数
社会的側面	家族形態、介護者の有無、独居の有無、高齢夫婦（ともに65歳以上）の有無
身体的側面	要介護認定の有無、認知症診断の有無、多疾患併存の有無

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である澤田 果乃が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 情報の取得方法

6階西病棟に整形外科疾患で入院された患者さんの診療記録等を用います。

2. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

役割	氏名	所属・資格・職位
研究責任者	澤田 果乃	6階西病棟 看護師
研究分担者	菊地 あゆみ	6階西病棟 副看護師長
	本橋 奈津紀	6階西病棟 主任
	丸山 拓斗	6階西病棟 看護師
	足立 茉奈	6階西病棟 看護師

4. 情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

6階西病棟 看護師 澤田 果乃

TEL : 049-228-3634 (直通)

○研究課題名：入院期間が長期化している患者の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 澤田 果乃